

OFA GK育成プロジェクト 活動レポート

2020年10月
一般社団法人大阪府サッカー協会



OFA GKアカデミー

文責：時久 省吾（OFA GKアカデミーGKコーチ）

10月は高校生活最後の公式戦である選手権予選に臨みました。トーナメント方式で緊張感のある中で試合を勝ち進むにつれて試合勘も良くなっていき、パフォーマンスもあがってきました。全国常連校に対して押し込まれる時間が長い中、決定的なクロスからのシュートをストップ出来たり、シュートストップ後のセカンドボールに対しても、フロントダイブでセーブするなど課題であった部分でビッグセーブができ、終盤まで拮抗した試合をする事ができていました。試合には負けてしまいましたが課題であった部分が克服できた場面があったり、ストロングポイントである反応を生かしてのシュートストップは見ごたえがある試合でした。この大会で高校生活での試合は終わってしましますが次のステージで更なる活躍が出来るようこの悔しさを糧にしてもらいたいです。最後にこの大会を迎えるにあたってこのような状況下で関わってくださった全ての方に感謝します。



OFA GKスクール

文責：櫛引 実（JFAアカデミー堺GKコーチ）

今月は12日（月）、26日（月）にU-12、5日（月）と19日（月）にU-15を其々2回行いました。U-12のテーマは12日がフロントダイブ、26日がアングルプレーでした。U-15は5日にアングルプレー、19日にディストリビューションでした。U-12のフロントダイブは静止球の一步から始め、助走あり、動いているボール、判断のいるボールへと段階的に進めました。次に相手が入り、DFが入り連携を含めたものへと発展させてゲームを行いました。判断が伴った中で動いているボールに対して課題はありましたが、ゲームでも積極的にスピードを落とさずに勇気を持ったプレーが多くあり、良かったと感じています。アングルプレーではまずはロープを張って3Dでポジション確認をしてシュートストップに移行しました。角度がつく中でエリアの中か外か、右足か左足かでポジションを修正するように指導しました。また、ボール以外に何を観てポジションを正しく取るのかも合わせて伝えました。ゲームではコーチングも求めたので、苦戦していましたが良くなっていきました。U-15のアングルプレーも3Dでポジション確認をしてシュートストップへ移行しましたが、上級生はより実践的にする為に、DFをつけてコーチングとセットでやりました。中学生レベルだとポジションの理解はありましたが、動きが増えるとずれたり、構えが遅れたりしました。更に、コーチングをしながらだと上手い出来ないことが多くなりました。この課題は継続して指導したいと思います。ディストリビューションでは、ハンドパスゲームから入り、何処を観るのか、何を目指すのか出し手と受け手の意識の共有を伝え、テクニックのトレーニングに時間を割きました。スローイングとキックの両方を行いました。時間が足りないくらいでした。ゲームでは、優先順位と切り替えの早さを指導し、改善できましたが、テクニックは更なる向上を求めています。



協賛

ユニバーサル株式会社、ユアSAM&B株式会社

お問い合わせ先

一般社団法人大阪府サッカー協会

〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-7-25 イトーダイ鞠本町ビル6階

TEL：06-6441-5881（平日10:00～18:00） FAX：06-6441-5882 <http://osaka-fa.or.jp>